

## 飯山市美術館運営協議会 会議録

- 開催日 平成 28 年 2 月 19 日（金）午後 3 時 30 分～4 時 45 分  
○開催場所 飯山市公民館 101 会議室  
○参集者 委員：吉越会長 千坂会長職務代理 森崎委員 油科委員 高杉委員 小林委員  
委員 8 名中 6 名出席  
市側：長瀬教育長 石田館長 井端係長 木村 宇敷

### 1 開 会

### 2 あいさつ

教育長 本日はお忙しい中、ありがとうございます。  
年 2 回の会議ですが美術館にとっては大事な会議でございます。今年度や来年度の事業についていろいろなご意見を出していただき、ご審議をよろしくお願ひしたい。  
また、なちゅらが出来てからは、この地区が一つのゾーンとして非常に大事な位置づけになってきている。美術館の役割もますます大事になってくると思うので、なにとぞよろしくお願ひしたい。

### 3 自己紹介

（それぞれ所属及び氏名を紹介）

### 4 会長選出

会 長：吉越隆師氏、会長職務代理：千坂経悦氏に決定。  
会長あいさつ：長年やらせてもらっておりかなりマンネリ化していると感じている。皆さま方の協力は成り立たないので、是非、ご協力をお願いしたい。この美術館に一人でも多くの市民の皆さんに集まってもらえるように私たちが提言をしていくことが使命だと思う。是非、お知恵を出していただきたい。  
会長職務代理あいさつ：なちゅらもできてここに一つの文化ゾーンができた。市民のためにあると同時に観光というか、外に向かってアクションを起こしていく必要がある。飯山から発信できる施設として魅力ある企画展をたくさん出来ればいいと常に思っている。

### 5 協議事項

会 長 平成 27 年度事業報告について報告をお願いする。  
事務局 （資料のとおり説明）  
会 長 ご質問ご意見などございましたらお願ひしたい。  
委 員 10 月の入館者数が増えているがこれは企画展をやっているからなのか。  
事務局 それもちろんあるが、5 月と 10 月は季節の良い時期で、もともと旅行者などが多いことから、企画展も出来る限りそのような時期に重ねて開催している。両方の効果で数字が多くなっていると思う。  
会 長 とりあえず前に進めたいので、平成 28 年度事業計画（案）について説明をお願ひしたい。  
事務局 （資料のとおり説明）  
会 長 せつかくなので、29 年度以降の計画も合わせて説明をお願ひしたい。  
事務局 （資料のとおり説明）  
会 長 新しい年度とそれ以降の提案があったが、皆さんからご意見をいただきたい。  
委 員 城南城北中学校美術部展を開催することを見直したいということで話が進んでいるとのことだが、お金がかかりすぎるとか理由は何なのか。  
事務局 お金はそれほどかかってはいない。チラシにはお金をかけているが、手作りでもできないわけではない。年に何回もあることではないが、入館者の中で有料の施設の中に子どもの絵

が展示してあることに違和感を感じるという意見がときどきあることが主な理由である。それから美術館の中で展示することは、展示する人たちにとっては励みになると思うが、見に来てもらう方は家族に限定されてしまう。もっと他の人たちに見てもらうのであれば、不特定多数の人が行きかう場所の方が良いのではないかということも理由としてある。

会 長 市民のための美術館だから思いきってそのときは無料にするとか、ギャラリーの部分だけは無料にするとか、そういう方策を考えてもいいのではないか。現在こうだからこのままでいかななくてはならないではなくて、それを前進してもらおう方向で。小中学生の皆さんが集まれるような場所にしてもらいたい。すぐには言わないが、あそこだけ区切ってしまうとか、何年かかかってもいいので方向性を出してほしい。美術館にはだいたいどこかに無料で見れる場所があるが、飯山にはそれが無いからなんとかしたい。

館 長 貴重なご意見をいただいた。学校現場の立場からその辺ご意見をいただきたいが。せっかくの審議会のお場であるし、大事なポイントだと思う。

千 坂 有料じゃないと入れない。招待の葉書を持ってきてもらってそれで無料で入れるということか。無料招待された方の入場料は美術館で負担しているのか。

事務局 負担というか、無料扱いになるだけなのでお金が動くわけではない。

千 坂 やるのなら無料開放のようにやればもっと解放的になるのではないか。高校でも使わせてもらえないかと思うが、有料でないと入れないと足が遠くなってしまふ。ギャラリーの方だけは無料で開放することができれば利用する人が多くなるのではないか。

館 長 テクニック的にはいろいろあると思う。

委 員 ホームページを見て所蔵展を見に来る。その作品を目当てに来るのでだから有料は当然。有料で常設展示が排除されて子どもの絵だけだったというのは許されない。どうしてもということであれば、常設展を活かしたうえで、そういう展示の仕方を工夫していかないと。いくら飯山市民のためと言ってもホームページでちゃんと出ているので、常設展を見れないのは許されないと思う。

事務局 一応、常設展はそのままあって 2 階のギャラリーで中学校の美術部展をやっているの、常設展示はあるにはある。

委 員 基本的には美術館としての役割がメインなので、それさえはずさなければ良いと思う。そのうえで子どもの絵、市民の絵を飾るのはとても良いことだと思う。

委 員 本物ということがとても大事で、子どもにとって本物の美術館で飾ってもらえることが気持ちのうえで、モチベーションというかとても大事なことだと考えると、美術館で飾ってもらえることは大事だと思うが、美術館の本来の機能やねらいがあるの。

いつだったか、ある美術館に行ったとき、お金を払って常設展を見た後、特別展という方を見たら中学校の子どもたちの作品が飾ってあった。それを見たとき、お金を払って子どもの絵かという思いをしたことがあるので何とも言えない。

会 長 招待券を出せば別に違和感なく入れるのではないか。その辺、具体的などころを考えてもらいたい。

館 長 少し研究させてもらえればと思う。委員のおっしゃる通り、入館料をいただくとなると美術館の一定の高さも必要であるし、一方、生徒さんたちにとっては公設の美術館の中で自分の作品が展示できるという部分、それも一つの価値だと思う。

ただ、現状のつくりを変えるわけにはいかないの、あそこに受付窓口が一つあって、この人はタダ、この人は有料、という点では招待券のあり方が一つ、もしかしたら受付場所の設営の仕方でも 2 階のギャラリー展は無料という仕様も可能かもしれない。ちょっとその辺も含めてテクニカルな部分は検討させていただきながら、次の運営協議会の中でお話しできればと思う。

会 長 他に何かあるか。

委 員 先般、社会教育委員の北信地区の皆さんがここも含め、なちゅらなどを視察された。そのときいろいろ資料をいただいたり、良い環境で作品を見せていただいた。市民のよりどころとして、特に絵画など美術を楽しんでいる方が高齢者に多いことは飯山市の特徴と言われている。そのときいただいた資料の印刷も経費節減でやっておられる状況もあった。心配ってやっつけられるだけの予算をとって行われているのか私にはわからないが、文化交流館がオ

オープンした後の美術館の運営や作品をどうやって飾っていくか、運んできて飾るのに大変なお金がかかるらしいが、そういった予算が十分とは言えないという話を伺っていて、金がかかるものと言わずにできるだけ郷土のものをという美術館の民さんの努力は見えるが、ここで言ってもしょうがないが教育長さんもおいでになるので、いろいろご配慮いただきたいと思う。

会 長 それぞれ計画を立ててやっていただいているのはありがたいが、ここに作家一覧がついている。この中に飯山の出身者がかなりいる。この皆さんを掘り起こしていただくのも一つの方法ではないかと思う。市内に関係のない人たちの作品も大事だろうけども、地元の皆さんにも関心を持ってもらいながら美術館のレベルを上げていくこともできると思うので、その辺を考えてもらいたい。この中には、まだ美術館で発表したことがない若い人もいるので取り上げてもらいたい。

館 長 ありがとうございます。この現役作家一覧の作家でも、また、これ以外にこういった作家がという方がいらっしゃれば、この場でなくても構わないので事務局の方にご提言いただければと思う。

その他、入館者を増やしていく努力も美術館として必要。職務代理からアクションを起こして発信をというご意見もあった。その中で、どこの市町村もなかなか予算がつかない。原則的には限られた予算で良い企画を考えること。もう一つは情報発信の工夫をしていくことも大切と思っている。昨年 3 月に北陸新幹線の飯山駅が開業した。当美術館も含めてこの周辺には文化ゾーンが出来、また、車で 30 分くらいの範囲に多くの美術館や文化会館等がある。そのようなところと連携しながら、一つの館ではディスティネーションになり得ないものが全体の面として発信力を持って、首都圏並びに関西圏にも呼びかけながらこの地に訪れていただいて、その一つの経過地点が飯山市美術館だというような、大きく広くマーケットを捉えて、情報発信をしていくことが大事と思っている。いろいろな方策を考えながら、市外から県外から当館に多くの皆さんがおいでいただけるように事務局としても検討していきたい。

会 長 では、他にご意見等いかがか。

会 長 全体をとおしてご意見あればお願いします。

教育長 飯山高校美術部員は何人いるのか。

委 員 15 だが、引退した 3 年生を入れると 20 人くらいになる。

入館料は中学生までは無料でよかったか。

事務局 その通りである。

委 員 高校生まで無料にすることを検討できないか。

委 員 高校生はお金を払って入った方が良いのでは。

委 員 この前、齋藤一郎展のときに授業で生徒を連れてきたことがあった。そのときは減免していただいた。

委 員 とときどき考えているが、学芸員がいるので高校とか中学に出張し、美術館主催の講座を設けるなど、学校現場の先生ではできない美術の関わり、鑑賞を、こちらで待つのではなく出かけて行って 1 時間なりそういうことをすることによって専門家の目による誘導とか勧誘とか研修をしてほしいと思う。

館 長 現場ではどうか。

委 員 今までそういった例がないので、アイデアを提供していただければ検討するというかそのようになると思う。

委 員 長野市では、学校が信濃美術館から作品を借りて企画し、講師が行ってそこでやるということをやっているようだ。飯山市美術館に来て見るのが一番いいのだから学校でもそのように子どもたちに進めてほしい。また、美術館からも作品 1 枚学校に持って行ってもらって、作家と学芸員と子どもで芸談のようなかたちで関心を深めることをやっていただければ。最初は年に何回もできないと思うが高校や中学から出発していけばいいかなあと。

館 長 昨年から文化振興部というのが市役所に出来て部長をさせていただいている。来年度のなかでは、わずかな額だが文化振興事業という別枠の事業が組んである。その中で、アウトリーチとって学校現場や保育現場を対象として、来年度については創作ダンスみたいなことを考えている。あるいは東京の音楽大学の専門の皆さんに吹奏楽の現場に行ってもらって

楽器クリニックをしながら本当の演奏家のテクニックを高校生や中学生に学んでいただくというようなアウトリーチ事業を進めさせていただければとわずかな予算だが考えている。そうした中で美術という部分まで含めてその枠と一緒に捉えさせていただき、校長会などと相談させていただきながら取り組めるものについては取り組んでいきたい。

委員 音楽の場合は夏休みになるとまわって来てちゃんとお金を取って演奏している。飯山市美術館の場合はそこまでしなくても作品の運搬は車で間に合うので、是非そのような取り組みをしていただきたい。

館長 また、しっかり考えさせていただきたいと思う。

教育長 具体的なお話をいただいた。学校へでていく件は一步前に進めていただきたい。

館長 大変貴重なご意見ありがとうございます。大きなご提言もいただいた。集まれる場づくり、アクションを、発信をしっかりしていくということを肝に銘じて今後美術館運営に努めていきたい。

ただ今をもちまして、平成 27 年度運営協議会（第 2 回）を閉じさせていただきます。

## 6 閉 会